



2022年2月16日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI) が 国際シンポジウムを開催(2月28日) ーグローバル高齢化時代と健康寿命の未来ー

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート(KGRI)健康寿命延伸プロジェクトは、2022年2月28日(月)19時30分から国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、国内外の専門家と共に「健康寿命」の概念をグローバルな視点で考え、これからの「健全なる健康寿命延伸」へ向けた議論の地盤となる知見を探ります。

つきましては、本シンポジウムの開催について、イベント欄へのご掲載ならびにご取材のほどどうぞよろしくお願い致します。

■開催概要

- ・日時：2022年2月28日(月)19:30～21:30
- ・場所：Zoomを用いたオンライン配信(事前申し込み制)
- ・主催：慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート(KGRI)
2040独立自尊プロジェクト〈長寿〉
- ・対象：どなたでもご参加いただけます。
- ・言語：英語(同時通訳有)
- ・参加費：無料
- ・詳細：KGRI公式サイト(<https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/092686.html>)よりご覧いただけます。

■内容

2040年の日本は、高齢者人口がピークに達し世界に先駆けて超高齢社会へ突入します。はたして、人々が望む健康寿命とは何か、その実現に何ができるか、そして、健全なる健康寿命延伸を実現した社会に我々は何を期待するのか、全世界的な議論の場が必要とされています。そこで、本シンポジウムでは、国内外の専門家と共に「健康寿命」の概念をグローバルな視点で考え、これからの議論の地盤となる知見を探ります。

ブラジルからは老年学を専門とする神経内科医のダグラス・K・サトウ教授、イギリスからは高齢者の社会格差と健康における数々の国際的研究プロジェクト経験を持つダニエル・ホルマン先生、そして日本からは健康長寿メカニズムに関して多角的視点から追及を重ねてきた新井康通教授を招き、本プロジェクトリーダーであり神経内科医の中原仁教授と健康寿命の未来を討論致します。

■プログラム

1. 挨拶・主旨説明：安井正人（慶應義塾大学医学部教授・KGRI 所長）
2. 講演：中原仁（慶應義塾大学医学部教授、KGRI 副所長）
3. 講演：新井康通（慶應義塾大学看護医療学部／大学院健康マネジメント研究科教授、医学部百寿総合研究センター教授）
4. 講演：ダニエル・ホルマン（シェフィールド大学健康寿命研究所／社会学部研究員）
5. 講演：ダグラス・K・サトウ（老年医学・老年学研究所所長／リオグランデ・ド・スル カトリック大学教授）
6. ディスカッション・質疑応答

■申込方法：以下 URL より事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/9qWg7S1tMzAJWuKF6>

※お申し込み後にお送りする自動返信メールに ZoomURL を記載しています。24 時間以内に返信メールが届かない場合、迷惑メールフォルダ等（Gmail ですと「プロモーション」フォルダの場合もあり）に自動的に振り分けられている可能性がありますので、一度ご確認いただきますようお願いいたします。

■本シンポジウムのお問い合わせ先

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）

「健康寿命延伸プロジェクト」事務局

Email : kgri_2040pj[at]info.keio.ac.jp

※発信の際は[at]を@に置き換えてください。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信させていただいております。

【本リリースの配信元】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>